PRESS RELEASE

国立大学法人 徳島大学

令和8年 10 月 30 日

こどもの眠りを守ろう！
小児閉塞性睡眠時無呼吸への取組

＜報道概要＞

徳島大学病院小児歯科では、う蝕（虫歯）の予防や治療に加え、耳鼻咽喉科・頭頸部外科と連携し、小児の閉塞性睡眠時無呼吸（OSA）の診療にも取り組んでいます。

小児 OSA はこどもの成長発達に大きな影響を及ぼすにもかかわらず、ほとんどの保護者はこどもが罹患していることに気づかず、病院を受診することはありません。

一方、この小児 OSA は、耳鼻科的原因だけでなく、歯科的原因によって発症することもあるため、医科歯科が連携した診療体制が必須になります。しかし、このような連携体制が整備されている大学病院は全国的にも少なく、徳島大学病院は、その連携が整っている数少ない大学病院の一つです。特に、本院で行っている検査・解析は、国際的にも先進的な流体解析による呼吸シミュレーションであり、学会での講演依頼や他大学病院から症例の相談を受けるなど、対外的にも高く評価されています。

＜小児の閉塞性睡眠時無呼吸（OSA）とは＞

小児の閉塞性睡眠時無呼吸（OSA）は、一般には十分に知られていないものの、健常小児の約 5%に認められます。症状としてはいびき、夜間覚醒、夜尿などの夜間症状に加え、日中の易刺激性、多動、集中困難、学業成績低下を呈し、さらに、低身長や痩せなど、成長発育への悪影響を伴うことから、健全な発育を阻害するといわれています。5 歳頃までに適切な治療を受けることで、成長への悪影響の改善が期待できます。一方、5 歳を過ぎると、成長発育の遅れを十分に取り戻すことが難しい場合があると言われています。

＜徳島大学病院での取組＞

小児 OSA の原因には、医科的なものと歯科的なものの両方がありますが、その原因部位を正確に特定することは簡単ではなく、十分な治療成果が得られないこともあります。

徳島大学病院では、医科歯科が連携した診療体制を整備するとともに、独自に開発した呼吸状態を再現・評価する上気道流体解析を用いることで、より的確で、見通しの立てやすい治療の提供を目指しています。

この解析方法は国際特許（US11432742B2）を取得しており、国内外から共同研究や解析の依頼も寄せられています。

お問い合わせ先
徳島大学病院小児歯科
担当者　診療科長／教授　岩﨑　智憲
電話番号　088-633-7358
メールアドレス　iwasaki[ｱｯﾄ]tokushima-u.ac.jp
※メールを送信される場合には、[ｱｯﾄ]を@に置き換えてください。

770-8501
徳島市新蔵町 2 丁目 24 番地
電話番号 088-656-7021
https://www.tokushima-u.ac.jp /